

調査分析の基礎データとして貴事業所自身のことについておたずねします。

(1) 貴事業所の事業形態をお答えください	1. 本社 2. 支社 3. 支店	4. 営業所 5. 出張所 6. その他 ()
(2) 貴事業所の業種は	1. 農林漁業 2. 鉱業・建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業	8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 飲食店、宿泊業 11. 医療、福祉 12. 教育、学習支援業 13. サービス業 14. その他 ()
(3) 貴事業所の従業員数は	1. 10人未満 2. 10～49人 3. 50～99人 4. 100～299人	5. 300～499人 6. 500～999人 7. 1,000人以上
(4) 貴事業所の営業年数は	1. 1年未満 2. 1～9年 3. 10～29年	4. 30～49年 5. 50年以上
(5) 貴事業所は公害関係の届け出の必要な施設を設置していますか	1. 大気・悪臭に関係のある施設を設置している 2. 水質に関係のある施設を設置している 3. 騒音・振動に関係のある施設を設置している 4. 廃棄物に関係のある施設を設置している 5. 設置していない 6. わからない	

1. 貴事業所における環境保全対策の取り組み状況と今後の意向について

問1 貴事業所では、企業の環境への取り組みと企業活動のあり方についてどう思われますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. ビジネスチャンスである
2. 社会貢献の一つである
3. 法規制等をクリアするレベルでよい
4. 環境への取り組みと企業活動は関連がないと考えている
5. その他 ()

問2 貴事業所では、現在、環境配慮に関する計画や組織を設けていますか。また、今後の予定はどうか。現在と今後に分けてそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

・選択肢を一部修正

	現 在		今 後		
	設 け て い る	設 け て い な い	設 け て い く 予 定	引 き 続 き 今 後 は 設 け る 予 定	予 定 は な い 今 後 と も 設 け る
1. 組織または経営者が定めた環境配慮に関する経営方針	1	2	1	2	3
2. 環境配慮に関する具体的な目標や行動方法・指針等を文書にしたもの	1	2	1	2	3
3. 環境配慮に関する取り組みを推進するための担当者もしくは部署を設置	1	2	1	2	3
4. 環境レポート（環境配慮の実施状況や環境負荷の報告書）の作成、公表のしくみ	1	2	1	2	3

・選択肢を一部修正

問3 貴事業所では、環境配慮に関する社員教育についてどのように取り組んでいますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 定期的に行っている
- 2. 定期的ではないが、行っている
- 3. 従業員の希望に応じて行っている

⇒問4へお進みください

- 4. 従業員に対する環境教育は行っていない
- 5. その他

⇒問5へお進みください

**問 4 従業員向け環境教育をどのような形で行っていますか。
当てはまるものを全て選んで○をつけてください。**

1. 新入社員研修、管理職研修等の階層別研修の中で実施している
2. 環境マネジメント研修の中で実施している
3. 外部の環境教育研修会などに従業員を派遣して実施している
4. e-ラーニング※1を活用して、全社員に環境教育研修を実施している
5. その他 ()

※1:e-ラーニング

PCとインターネットを中心とするIT技術を活用した教育システム

**問 5 事業者が自主的環境保全への取り組みを継続的に進めていくための仕組みとして、「環境マネジメントシステム」が注目されています。
環境マネジメントシステムとは、「事業所ごとに環境保全に関する方針を作成し、実施し、達成し、見直しかつ維持するための組織の体制、計画活動を含むシステム」のことで、これを規格化したものが ISO（国際標準化機構）の環境マネジメント規格 ISO14001 です。
また、環境省では ISO14001 より実施が簡単な環境マネジメントの方法として、「環境活動評価プログラム（エコアクション 21）」※2の普及を進めています。
これらについてご存知ですか。また、貴事業所の取り組み、今後の予定についてはどのようにお考えですか。「認知度」、「取り組み状況と今後の予定」についてそれぞれ○を1つつけてください。**

	認知度		取り組み状況と今後の予定			
	知っている	知らない	既に実施している	実施する予定である	が実施の予定はない 興味はある	実施の予定はなく 興味もない
1. ISO14001 規格の取得	1	2	1	2	3	4
2. 環境活動評価プログラム（エコアクション 21）の実施	1	2	1	2	3	4

※2：環境活動評価プログラム（エコアクション 21）

環境省が、中小事業者等における環境マネジメントシステムの構築・運用、環境コミュニケーションの促進のために策定し、公表した環境配慮プログラム。なお、本プログラムを活用して、財団法人地球環境戦略研究機関による認証・登録制度が平成 16 年 10 月より実施されている。

2. 環境保全に関する取り組みについて

問6 貴事業所では、環境保全に関する以下のような項目について、どのように取り組んでいますか。それぞれ1つを選んで○をつけてください。
 なお、貴事業所に該当しない設問に対しては、「6 当事業所には該当しない」に○をつけてください。

		現在		今後			当事業所には該当しない
		実施している	実施していない	引き続き実施する予定	実施する予定	実施の予定はない	
循環型社会の実現	1. 環境にやさしい製品を開発する、または販売する	1	2	3	4	5	6
	2. レジ袋を削減する（有料化、マイバッグ(袋)の持参PR、マイバッグ(袋)を持参した人への特典など)	1	2	3	4	5	6
	3. 梱包材を減らすなど、製品・商品の梱包に配慮する	1	2	3	4	5	6
	4. 輸送エネルギーの少ない地元産の農作物を多く販売、または利用する	1	2	3	4	5	6
	5. 店舗に缶・ビン、紙パック、トレイなどの回収ボックスを設置する	1	2	3	4	5	6
	6. 紙の使用枚数を減らす工夫を徹底する（両面コピーなど）	1	2	3	4	5	6
	7. ごみの減量・リサイクルの責任者(担当者)を置く	1	2	3	4	5	6
	8. 雨水の利用施設を設置する	1	2	3	4	5	6
	9. 従業員の節水行動を徹底する	1	2	3	4	5	6
公害防止	10. 農薬や化学肥料は適量・適正に使用する	1	2	3	4	5	6
	11. 家畜ふん尿を適正に処理する	1	2	3	4	5	6
	12. 事業所活動に伴う大気汚染や水質汚濁の公害防止に努める	1	2	3	4	5	6
	13. 自然環境を損なわないように保全対策を実施する	1	2	3	4	5	6

		現在		今後			当事業所には該当しない
		実施している	実施していない	引き続き実施する予定	実施する予定	実施の予定はない	
(問6の続き)							
地球温暖化対策	14. 空調の適温化（暖房 20℃以下、冷房 28℃程度）を徹底する	1	2	3	4	5	6
	15. 昼休みや使っていない部屋の照明をこまめに消す	1	2	3	4	5	6
	16. クールビズやウォームビズなどを実践する	1	2	3	4	5	6
	17. カーテンやブラインド、グリーンカーテン等を効率的に利用して冷暖房効果を高めている	1	2	3	4	5	6
	18. 遮光フィルム等を採用して、冷房負荷を軽減している	1	2	3	4	5	6
	19. 不必要なパソコン、コピー機等の電源は切っている	1	2	3	4	5	6
	20. 省エネ等のために、ノー残業デーを設けている	1	2	3	4	5	6
	21. デマンド管理や電力消費監視システムなどによる電力消費の見える化を実施している	1	2	3	4	5	6
	22. 空調フィルターを定期的に清掃・点検している	1	2	3	4	5	6
	23. 自然採光、通風をとりいれている	1	2	3	4	5	6
	24. 敷地や建物屋上の緑化を行っている	1	2	3	4	5	6
	25. アイドリングストップを奨励している	1	2	3	4	5	6
	26. 急発進、急加速をしないように奨励している	1	2	3	4	5	6
	27. 燃費向上のため、空気圧を適正に保つ等、定期的に点検を実施している	1	2	3	4	5	6
	28. カーシェアリングを行っている	1	2	3	4	5	6
29. ノーマイカーデーを設ける	1	2	3	4	5	6	
30. 公共交通機関の利用や自転車、徒歩による通勤を励行している	1	2	3	4	5	6	
地域活動	31. 事業所周辺の美化のため、清掃活動を行う	1	2	3	4	5	6
	32. 環境を守るための取り組み状況を公表する	1	2	3	4	5	6
	33. 国や地方公共団体が提唱する環境保全活動に協力する	1	2	3	4	5	6

問7 貴事業所では、より良い環境づくりを進めていくための地域活動にどの程度参加したいですか。次の項目の中から、1つ選び番号に○をつけてください。

1. できるだけ参加したい
2. 時間などが許す範囲で参加してもよい
3. 参加したくない
4. その他 ()

・ 選択肢を一部修正

【コラム：トップランナー基準】

「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に準拠する基準です。製造業者等に省エネ型の製品を製造するよう、基準値を設けてクリアするように課した措置のことで

トップランナー方式では対象機器の省エネルギー基準を、現在商品化されている製品のうち最も優れている機器の性能に設定します。

それぞれの製品の性能は、省エネラベル、統一省エネラベルで確認することができます。

＜ラベルの例＞



【多段階評価制度】
 ・省エネ性能を5つ星から1つ星の5段階で表示。市場における製品の性能の高い順に5つ星から1つ星で示している。
 ・トップランナー基準を達成しているものがいくつの星以上であるかを明確にするため、星の下に矢印でトップランナー基準達成・未達成の位置を明示。

【省エネラベリング制度】
 ・トップランナー基準の達成のものには緑色のeマーク、未達成のものにはオレンジ色のeマークを表示。
 ・その他トップランナー基準の達成率及びエネルギー消費効率(年間消費電力量等)を表示。

【年間の目安目安料金】
 ・エネルギー消費効率(年間消費電力量等)等を分かりやすく表示するために年間の目安電気料金を表示。

＜対象製品＞

乗用自動車、貨物自動車、エアコンディショナー、テレビジョン受信機、ビデオテープレコーダー、複写機、電子計算機、電子レンジ、プリンター 等

3. 省エネルギー設備・新エネルギー設備の導入状況について

問8 貴事業所では、次にあげる省エネルギー設備・新エネルギー設備を導入されていますか。それぞれ選択肢1～4の中から、あてはまるもの1つを選び、番号に○をつけてください。

	導入している	導入予定である	導入していないが、今後導入する	導入していない	該当しない、分からない
<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> ・ 選択肢を一部修正 </div>					
a. 太陽光発電設備	1	2	3	4	
b. 太陽熱利用設備	1	2	3	4	
c. 空調の省エネルギーシステム（外気冷房、全熱交換器など）	1	2	3	4	
d. LED 照明器具による照明の省エネルギー化	1	2	3	4	
e. 人感センサー付器具による照明の省エネルギー化	1	2	3	4	
f. 高効率給湯器（エコキュート、エコウィル、エコジョーズ、エコフィールなど）	1	2	3	4	
g. 建物の省エネルギー化	1	2	3	4	
h. 冷凍・冷蔵の省エネルギーシステム	1	2	3	4	
i. トップランナー基準（6 ページを参照）に適合した OA 機器への入替	1	2	3	4	
j. バイオマスエネルギー*利用設備	1	2	3	4	
k. 燃料電池自動車	1	2	3	4	
l. 電気自動車	1	2	3	4	
m. ハイブリッド自動車	1	2	3	4	
n. その他（下に設備の内容等をご記入ください）	1	2	3	4	

1つでも「3」と回答された方は問9にお答えください。

「n. その他」で1または2とお答えの方は、設備の具体的な内容をご記入ください。

設備名	導入時期・導入予定時期	設備能力

※ 間伐材や下水汚泥など生物体由来のエネルギー源。化石燃料の代替として利用することで、化石燃料使用量を削減する効果がある。

問9 問8で「3」とお答えの設備について、どのような条件が整えば導入できるとお考えですか。それぞれ次の1～5の中から、あてはまるもの2つまで選び、下の回答欄に番号を記入してください。

《選択肢》

1. 設備の性能をより向上させる
2. 設備の価格をより安価にする
3. 設備のサイズや機能など、各事業所のニーズに合うように様々なタイプの製品を開発する
4. 設備導入に対する現行の補助金制度や融資制度を拡充させる
5. その他（「5.その他」の内容の欄にご記入ください）

設備名	番号	「5.その他」の内容
a. 太陽光発電設備		
b. 太陽熱利用設備		
c. 空調の省エネルギーシステム (外気冷房、全熱交換器など)		
d. LED 照明器具による照明の省エネルギー化		
e. 人感センサー付器具による照明の省エネルギー化		
f. 高効率給湯器 (エコキュート、エコウィル、エコジョーズ、エコフィールなど)		
g. 建物の省エネルギー化		
h. 冷凍・冷蔵の省エネルギーシステム		
i. トップランナー基準に適合したOA 機器への入替		
j. バイオマスエネルギー利用設備		
k. 燃料電池自動車		
l. 電気自動車		
m. ハイブリッド自動車		

問 10 貴事務所における代替フロン類（HFC、PFC、SF₆）の使用状況についてお聞きします。該当する番号に○をつけてください。

1. 使用している、または以前使用していた
2. 使用していない

4. 環境に関する行政への要望等について

問 11 市が実施している環境を良くするための施策について、どのくらい満足していますか。また、どのくらい重要とお考えですか。項目ごとに満足度と重要度について、それぞれ1つ選び番号に○をつけてください。

	満足度					重要度				
	かなり満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	かなり不満	かなり重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
1. 河川の清掃や竹林対策、水辺教室の実施など、釣川を中心とした環境の保全と創造	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
2. 希少な動植物の保護や自然環境の保全、海や島などの自然とふれあう場・機会の創出	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
3. 里地里山の保全と再生や農林水産業からみた環境保全	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
4. 3R の推進による循環型社会の構築や地産地消の推進、資源化の推進と再生品の利用促進	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
5. ごみの減量やごみ処理制度の充実・適正処理、バイオマスの活用等	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
6. 公害の防止や生活排水等の適正な処理、生活に必要な水の確保	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
7. 地域資源の有効活用、環境に配慮した農業・漁業の推進、歴史・文化資源の保全	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
8. 環境美化対策や身近な公園緑地、安全で快適な町並み空間の整備	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
9. 都市景観、農村・漁村景観など特徴ある景観の創造	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
10. 事業活動における省エネ対策や交通手段利用時の省エネ対策	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e

(問 11 の続き)	満足度					重要度				
	かなり満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	かなり不満	かなり重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
<div style="border: 1px solid red; background-color: yellow; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度を追加 ・ 現行の環境基本計画の施策の内容に変更 </div>										
11. 省エネルギー対策の推進や二酸化炭素吸収源の確保などの地球温暖化防止対策	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
12. 再生可能エネルギー*活用の促進	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e
13. 環境教育・学習や環境保全活動の推進、環境市民団体の育成と協働の推進	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e

※ 風力、太陽光、地熱など自然環境から得られるエネルギー。エネルギー自給率の向上と地球温暖化問題への対応に優れているといった利点がある。

問 12 現在、市や県で取り組んでいる以下の事業について、どの程度ご存じですか。協力や活用の意向はありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

	認知度			協力・活用の意向			
	知っている	聞いたことがある	知らない	したい	時間が許せばしたい	したくない	できない
1. 緑のカーテンコンクール (CO ₂ 削減・夏の節電対策としてゴーヤやアサガオなどの植物を育てて日差しを遮るカーテンのコンクール)	1	2	3	a	b	c	d
2. ライトダウンキャンペーン (夏至から七夕の期間、一斉消灯をよびかける)	1	2	3	a	b	c	d
3. 主要エネルギー使用設備の省エネ手法等の県のセミナーや相談会	1	2	3	a	b	c	d
4. 省エネルギー対策や再生可能エネルギー設備等の導入を対象とした融資制度	1	2	3	a	b	c	d

